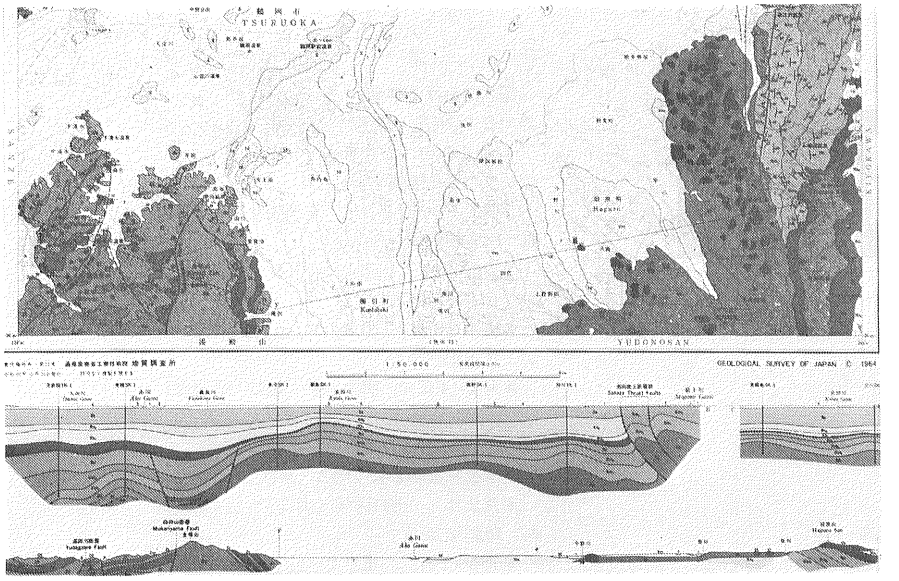

5万分の1地質図幅の新刊
鶴　　岡
TSURUOKA
5万分の1地質図幅 地域地質研究報告

著　　者　土谷信之・大沢穠・池辺穣
発　　行　工業技術院　地質調査所
取 扱 先　東京地学協会（03)261-0809　262-1401
　　そのほか全国主要書店
販売価格　2,390円

鶴岡図幅地域は山形県の米どころ庄内平野の南半部を占めている．　鶴岡市は人口約10万　山形県下第三の都市で　庄内藩主酒井忠勝の城下町である．

本地域は中央部から北部にかけて庄内平野が広がっておりこれを囲むように南西部と西部に山地があり　東部に丘陵地南東部に月山北麓の火山地域がある．　平野が本地域の広い範囲を占めているので　本報告は著者らの研究成果に加えて　石油資源開発株式会社の試掘井資料や地下水さく井資料などを使用し平野の地下地質を明らかにしている．

本地域南西部と西部の山地は先新第三紀の花崗岩類と新第三系下部からなる．　花崗岩類はわずかな分布であるが　新第三系の基盤として　本地域西半部の地下に広く伏在すると推定される．　新第三系下部は　いわゆるグリーンタフと呼ばれる地層の一部で　五十川（いらがわ）層・善宝寺層及び大山層からなり　酸性～中性の火砕岩と礫岩を主とする．　これらの地層は中新世前～中期に起こった断裂運動と火山活動によって形成されたものである．　東部の丘陵地は地質構造を反映して南北に延びた地形をなし　新第三系上部～第四系の堆積岩で構成されている．

この新第三系上部～第四系は　下位より草薙層・北俣層・楯山層・丸山層及び観音寺層からなり　海成の泥岩及び砂岩を主とする．　草薙層の下位には玄武岩火砕岩を主とする青沢層があり　石油試掘井によって本地域東半部の地下に広く伏在していることが確められた．　草薙層から上位の地層は　上位ほど粗粒な岩相に変わり陸成層を挟むようになり　中新世中期以降本地域が次第に海域から陸化していったことを示している．

更新世後期には庄内層群が堆積し　月山の火山活動も始まった．　火山噴出物の一部は本地域南東部にまで達している．修験道場で有名な羽黒山では　火山噴出物が新第三系上部～第四系の丘陵の上を薄く覆っている．　現在の庄内平野は火山活動終了後　完新世になって　最上川や赤川などの河川によって形成された河成平野である．

庄内地域の地質については　5万分の1地質図幅「酒田」(池辺ほか　1979) を併わせて読まれれば　その全貌を理解することに役立つであろう．

地質ニュース　第365号　1月号
定価 ¥600　〒実費
昭和60年1月1日　発行
編集　工業技術院地質調査所
発行人　林　久　雄
発行所　株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段南4の2の12
〒102
Tel.　(03)265-0951(代表)
振替口座　東京1-32466
総発売元　株式会社 実業公報社
出版事業部

©1985 Geological Survey of Japan